

スペインの警備会社Omega Seguridad はソーラーパーク周辺警備に赤外線サーマル カメラを導入しています



スペインのOmega Seguridadははスペイン国内と近隣諸国の20以上のソーラーパークでセキュリティを担当しています。同社では、ソーラーパークの警備・監視に赤外線カメラを導入することを顧客に勧めています。ルーマニア、セビスに新設されたソーラーパークの警備・監視プロジェクトでも赤外線サーマルカメラの導入が提案されました。

警備・監視用の赤外線サーマルカメラFLIR SRシリーズは、昼夜を問わず、あらゆる環境条件で高品質な熱画像を提供する

OMEGAグループはスペインのセビラに本社を構える警備会社です。セキュリティシステム、防犯・防火システム、CCTVによる監視カメラシステム、入退室管理システムなどの設置とメンテナンスをはじめとする包括的な警備・監視サービスを提供しています。同社は、もう一つの専門事業として、ソーラーパーク周辺警備を行っています。ソーラーパークは重要なエネルギー供給源として世界各地で建設、計画されていますが、施設の破壊・妨害行為やテロなどに対する強固なセキュリティ対策を設ける必要があります。Omega Seguridadは、スペイン国内のソーラーパーク周辺警備プロジェクトで培った専門知識と豊富な実績をもとに、ポルトガル、フランス、イタリア、ルーマニアなど欧州諸国にも事業を拡大しています。

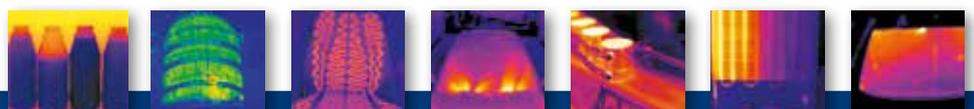
ルーマニアのソーラーパークプロジェクト

Omega Seguridadは、ルーマニアのセビスに新設されたソーラーパークの周辺警備に赤外線サーマルカメラ22台を導入しました。このソーラーパークはルーマニアでは最大、欧州でも有数の規模を誇ります。パークの開発は、Bester Generacionが行いました。Bester Generacionは再生可能エネルギー市場のリーディング企業で、クリーンエネルギー生産の促進、建設、運営、管理を行っています。パークの面積は200ヘクタール、太陽光パネルは約72,000枚で、年間発電量は15MW、およそ10万人分のエネルギーを供給できます。

敷地は、囲まれた2つのエリアから成り、敷地境界は全長約2.1km。この境界を22台の力



SRシリーズの赤外線サーマルカメラはビデオ解析に最適な高コントラスト映像を提供するsoftware.



メラが監視しています。平均するとカメラ1台で190メートルを警備していることとなります。

SRシリーズ

ルーマニアのこのプロジェクトに使用するカメラとして、Omega Seguridadは警備・監視用のFLIR SRシリーズを選びました。SRシリーズは昼夜を問わず、あらゆる環境条件で高品質な熱画像を提供する赤外線サーマルカメラです。主に使用したのは、33mmレンズを使用した解像度320×240ピクセルのSR-313でした。他に、19mmレンズで解像度320×240ピクセルのSR-324も使用されています。SRシリーズはビデオ解析に最適な高コントラスト映像が撮影できるモデルです。このプロジェクトのために、スペインのDavantis社が映像解析ソフトウェアを提供しました。

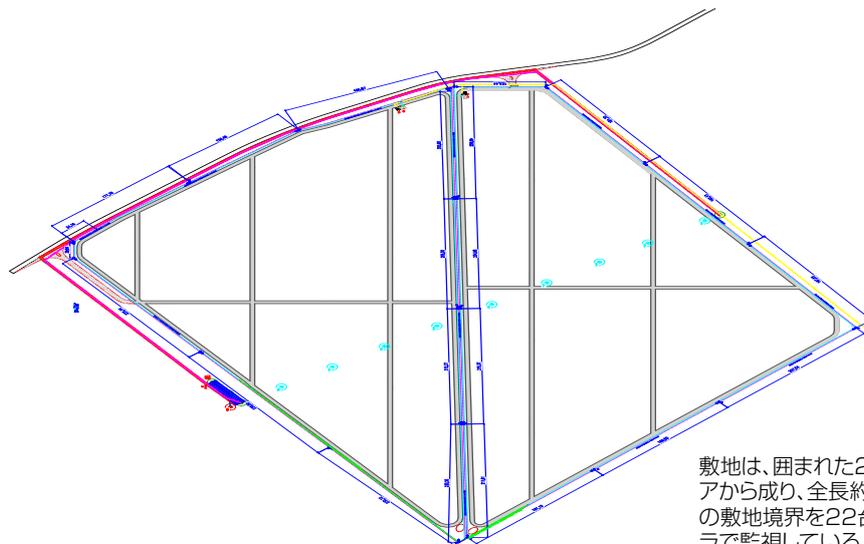
監視テクノロジー

Omega Seguridadは、周辺警備を依頼された場合、CCTVの監視カメラシステムと赤外線カメラシステムの2つのオプションを顧客に提示します。従来の監視カメラシステムは有効な警備・監視方法ですが、完全な暗闇では役に立たないという欠点があります。そのため、照明を新たに設置し、夜間でもある程度の距離を監視できるようにしなければなりません。

Omega Seguridadのプロジェクト責任者 Antonio Millán Fernández氏は、同社が赤外線サーマルカメラを推奨する理由を次のように説明します。「赤外線カメラは、従来のCCTVカメラよりも監視距離がはるかに長いので、設置台数が少なくて済みます。設置する台数が少ないほど、問題も少なくなるのです。」コストパフォーマンスに優れた



赤外線サーマルカメラは昼夜を問わず、常に高精度な映像を得ることができるため、照明設備は一切不要



敷地は、囲まれた2つのエリアから成り、全長約2.1kmの敷地境界を22台のカメラで監視している。

赤外線サーマルカメラ

赤外線サーマルカメラは、1台の価格は確かにビデオカメラよりも高価ですが、設置台数が少なく済むために、周辺警備に必要なトータルコストは低くなります。台数が少ないと、カメラの関連設備（カメラの運転設備やビデオシグナルを管制室に送る設備）も少なくなります。カメラが1台増えるごとに関連設備一式の追加コストが必要となります。さらに、設置工事にかかる費用もカメラの台数が少ないほど低く抑えることができます。さらに、赤外線カメラは昼夜を問わず、常に高精度な映像を得ることができるため、照明設備は一切不要です。Omega Seguridadの概算によれば、プロジェクトにかかる総消費電力を比較すると、赤外線カメラシステムと比較して、CCTVシステムは1.5倍の電力を消費します。エンドユーザーにとって、これだけの省エネは大きなコスト削減につながります。

「60～120kmの距離を監視するために必要な台数は、従来の監視カメラは2台、赤外線サーマルカメラは1台です。ですから、システム全体のコストは同等です。」とOmega Seguridadのエンジニア・プロジェクトマネージャーのEnrique Delgado Torres氏。「しかし、120～180kmの監視になると、従来の監視カメラは3台必要ですが、赤外線サーマルカメラは1台で済むため、トータルコストはさらに経済的になります。つまり、監視距離が長いほど、赤外線サーマルカメラのコストパフォーマンスが高くなるのです。」

「敷地に曲線や高低差が多いと、確実に監視するために、カメラの位置を増やす必要があります」というのは、エンジニアリング部長長

のVicente Nanclares Ocio氏。「しかし、幸い、ソーラーパークは直線的な敷地が多いため、赤外線サーマルカメラで180m以上の距離を監視することが可能なのです。」

赤外線サーマルカメラのその他の利点

Omega Seguridadが、ルーマニア、セビスのプロジェクトにおいて、赤外線サーマルカメラを推した理由はコストパフォーマンスの高さだけではなく、赤外線カメラは精度が高いため、アラームの誤作動が少ないという利点があります。管制室のオペレータにとって、作業量とストレスを増大させるアラームの誤作動を防止することは非常に重要なことです。

「まず、光に関連するアラームの誤作動がなくなりました」とVicente Nanclares Ocio氏。「従来の監視カメラシステムでは、車のヘッドライトがアラームの誤作動の原因となることがありましたが、赤外線サーマルカメラは光の影響を受けないため、アラームの誤作動もなくなりました。」

「他にも、従来の監視カメラでは霧が立ち込めるなかの監視は不可能でしたが、赤外線サーマルカメラのおかげで、霧のなかでも問題なく監視ができるようになりました。」

赤外線カメラに関する情報は弊社までお気軽にお問い合わせください。

フリーシステムズジャパン株式会社
〒141-0021
東京都品川区上大崎2-13-17
目黒東急ビル5F
電話:03-6721-6648
FAX:03-6721-7946
Eメール:info@flir.jp www.flir.com